

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名           | (1)職務の理解   |                   |                   |   |
|--------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標               | ①介護職が働く現場や仕事の内容を理解する。<br>②介護保険で提供されるサービス、介護保険外のサービスについて理解する。 |                   |                   |   |
| 項目番号・項目名           | 時間数  | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)  |
| ① 多様なサービスと理解       | 2  | 2                 |                   | <講義内容><br>・講師による講義の他、視聴覚教材を活用し、理解を深める。  |
| ② 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 4  | 4                 |                   | <講義内容><br>・講師による講義の他、視聴覚教材を活用し、理解を深める。<br>・施設見学を行う。(養護老人ホーム・特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、小規模多機能型居宅介護、有料老人ホーム、ヘルパーステーション等) |
|                    |  |                   |                   |   |
|                    |  |                   |                   |   |
|                    |  |                   |                   |   |
| (合計時間数)            | 6  | 6                 |                   |   |

|            |  |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト<br>・DVD 教材 |
|------------|--|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名      | (2) 介護における尊厳の保持・自立支援  |                   |                   |  |
|---------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標          | ①高齢者を守るための概念 や制度を 知り、 尊厳の保持、QOL・ノーマライゼーションについて理解する<br>②自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を形成する。<br>③尊厳を損ねる高齢者虐待に対す理解深める。 |                   |                   |  |
| 項目番号・項目名      | 時間数   | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)   |
| ① 人権と尊厳を支える介護 | 3   | 3                 |                   | <講義内容><br>・人間の尊厳と自立<br>・ノーマライゼーションの意義<br>・個人の尊厳と法制度<br>・高齢者虐待<br>・利用者の尊厳の保持  |
| ② 自立に向けた介護    | 4   | 4                 |                   | <講義内容><br>・介護サービスの社会的役割<br>・福祉理念と介護サービスの意義<br>・サービス提供の基本視点<br>・あるべき主体的な生活<br>・要介護状態の原因疾患<br>・介護予防とは<br>・介護予防活動の目標<br>・介護予防活動を支える5つの考え方 |
| ③ 人権啓発に係る基礎知識 | 2   | 2                 |                   | <講義内容><br>・人権及び人権啓発について  |
|               |   |                   |                   |  |
|               |   |                   |                   |  |
| (合計時間数)       | 9   | 9                 |                   |  |

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名                | (3) 介護の基本  |                   |                   |  |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標                    | ①介護職に求められる専門性と基本的な役割、多職種との連携の必要性について理解する。<br>②介護職員の倫理や職務について解する。<br>③生活支援の場で出会う事故や感染、介護におけるリスクを知り、その対応策等を学ぶ。<br>④介護職におこりやすい健康障がいやストレスに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方を学ぶ。 |                   |                   |  |
| 項目番号・項目名                | 時間数  | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)   |
| ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携    | 1.5  | 1.5               |                   | <講義内容><br>・介護環境の特徴の理解<br>・介護の専門性<br>・介護にかかわる職種   |
| ② 介護職の職業倫理              | 1.5  | 1.5               |                   | <講義内容><br>・介護サービスの公共性と職業倫理<br>・利用者・家族に対する責任<br>・社会に対する責任   |
| ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント | 1.5  | 1.5               |                   | <講義内容><br>・介護における安全の確保<br>・事故予防、安全対策<br>・感染対策のための基本的知識<br><br><演習実施方法><br>演習手法：「リスクマネジメント」について、班体制を用いてグループディスカッションを行う。 |
| ④ 介護職の安全                | 1.5  | 1.5               |                   | <講義内容><br>・健康管理とストレスマネジメント<br>・介護職の労働の権利と労働法<br><br><演習実施方法><br>演習手法：腰痛体操や正しい介護方法について、講師の指導のもと、受講生が実際に行う。              |
| (合計時間数)                 | 6  | 6                 |                   |  |

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名             | (4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携  |                   |                   |  |
|----------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標                 | ①介護保険制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要を理解する。<br>②医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医行為などについて学ぶ。<br>③障がい者自立支援制度の理念、目的、内容について学ぶ。 |                   |                   |  |
| 項目番号・項目名             | 時間数  | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)   |
| ① 介護保険制度             | 4  | 4                 |                   | <講義内容><br>・介護保険制度創設の背景、目的及び動向<br>・介護保険制度の仕組みの基本的理解<br>・制度を支える組織・団体の機能と役割、財源<br>・ケアマネジメント                               |
| ② 医療との連携とリハビリテーション   | 2  | 2                 |                   | <講義内容><br>・医行為と介護<br>・医療と介護の連携<br>・リハビリテーション職種との連携<br><br><演習実施方法><br>演習手法：体温や脈拍の測定等のバイタルチェックを、<br>講師の指導のもと、受講生が実際に行う。 |
| ③ 障がい者自立支援制度およびその他制度 | 3  | 3                 |                   | <講義内容><br>・障がい者福祉制度の理念<br>・障がい者自立支援制度の仕組みの基礎的理解<br>・個人の人権を守る制度の概要  |
|                      |  |                   |                   |  |
|                      |  |                   |                   |  |
| (合計時間数)              | 9  | 9                 |                   |  |

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名              | (5) 介護におけるコミュニケーション技術  |                   |                   |   |
|-----------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標                  | ①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割を理解する。<br>②チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、業務で必要となる組織上のさまざまな記録に関して学ぶ。 |                   |                   |   |
| 項目番号・項目名              | 時間数  | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)  |
| ① 介護におけるコミュニケーション     | 3  | 3                 |                   | <講義内容><br>・介護におけるコミュニケーションの技法<br>・利用者・家族とのコミュニケーションの実際<br>・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際<br><br><演習実施方法><br>演習手法：講師の指導のもと、コミュニケーション技法を用い、ロールプレイングを行う。 |
| ② 介護におけるチームのコミュニケーション | 3  | 3                 |                   | <講義内容><br>・観察、記録、情報伝達<br>・コミュニケーションをうながす環境<br><br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用い、講師の指導のもと、サービス担当者会議のロールプレイングを行う。   |
|                       |  |                   |                   |   |
|                       |  |                   |                   |   |
|                       |  |                   |                   |   |
| (合計時間数)               | 6  | 6                 |                   |   |

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

|                      |   |                   |                   |  |
|----------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 科目番号・科目名             | (6) 老化の理解   |                   |                   |  |
| 指導目標                 | ①加齢・老化に伴う心身の変化や特徴を理解する。<br>②高齢者に多い疾病の種類とその症状や特徴、日常生活所の留意点を理解する。 |                   |                   |  |
| 項目番号・項目名             | 時間数   | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)                 |
| ① 老化に伴うところとからだの変化と日常 | 3   | 3                 |                   | <講義内容><br>・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴<br>・老化に伴うからだの変化と日常 |
| ② 高齢者と健康             | 3   | 3                 |                   | <講義内容><br>・高齢者の疾病と生活上の留意点<br>・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 |
|                      |   |                   |                   |  |
|                      |   |                   |                   |  |
|                      |   |                   |                   |  |
| (合計時間数)              | 6   | 6                 |                   |  |

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名               | (7) 認知症の理解  |                   |                   |  |
|------------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標                   | ①認知症ケアの理念(パーソンセンタードケア)や利用者中心というケアの考え方について理解する。<br>②認知症の概念や原因疾患、病態等を理解する。<br>③認知症の中核症状・周辺症状の理解、ケアの原則について学ぶ。<br>④事例を通して家族の思いを理解し、介護者への支援の仕方を学ぶ。 |                   |                   |  |
| 項目番号・項目名               | 時間数   | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)                         |
| ① 認知症を取り巻く環境           | 1.5   | 1.5               |                   | <講義内容><br>・認知症介護の基本原則<br>・最新の認知症ケア                         |
| ② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | 1.5   | 1.5               |                   | <講義内容><br>・認知症の概念<br>・認知症の原因疾患とその病態<br>・原因疾患別のケアのポイントと健康管理 |
| ③ 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 | 1.5   | 1.5               |                   | <講義内容><br>・認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴<br>・認知症の利用者への対応            |
| ④ 家族への支援               | 1.5   | 1.5               |                   | <講義内容><br>・認知症家族介護者の現状の理解<br>・認知症をもつ人の声、そして家族の声            |
| (合計時間数)                | 6   | 6                 |                   |  |

|            |   |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト<br>・DVD教材 |
|------------|---|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名                                 | (8) 障がいの理解  |                   |                   |   |
|--|---|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標                                     | ①障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的な考え方を理解する。<br>②それぞれの障がいの内容、特徴及び障がいに応じた社会支援の考え方を理解する。<br>③障がい者の家族の心理の理解と支援の基本姿勢を学ぶ。 |                   |                   |   |
| 項目番号・項目名                                 | 時間数   | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)                          |
| ① 障がいの基礎的理解                              | 1   | 1                 |                   | <講義内容><br>・障がいの概念と ICF<br>・障がい者福祉の基本理念                      |
| ② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 | 1   | 1                 |                   | <講義内容><br>・身体障がいについて<br>・知的障がいについて<br>・精神障がいについて<br>・難病について |
| ③ 家族の心理、かかわり支援の理解                        | 1   | 1                 |                   | <講義内容><br>・障がいの理解・障がいの受容支援<br>・障がいの受容の理解                    |
|  |   |                   |                   |   |
|  |   |                   |                   |   |
| (合計時間数)                                  | 3   | 3                 |                   |   |

|            |  |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト<br>・DVD 教材 |
|------------|--|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名                         | (9) ところとからだのしくみと生活支援技術  |                   |                   |   |
|----------------------------------|---|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標                             | ①利用者主体の介護、個人の尊厳、QOLの考え方に基づいた介護を学ぶ。<br>②③介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。<br>④生活支援としての家事援助の考え方、機能と基本原則を習得する。<br>⑤住環境の整備と福祉用具に関する留意点と支援方法を学ぶ。<br>⑥整容の意義と目的を理解し、関連する用具の活用方法を学ぶ。<br>⑦体位変換や移動・移乗に関する知識や基本的な技法、関連する用具の活用方法を学ぶ。<br>⑧食事に関する栄養素・調理方法や介助方法・環境整備の重要性などを学ぶ。<br>⑨入浴や身体の清潔に関する知識や福祉用具の活用方法を学ぶ。<br>⑩排泄に関する基礎知識、環境や福祉用具の活用方法を学ぶ。<br>⑪睡眠のメカニズムや心地よい睡眠の環境整備、関連した用具の活用方法を学ぶ。<br>⑫終末期の基礎知識、「死」に向き合う心の理解、苦痛の少ない死への支援について理解する。<br>⑬介護過程の目的、意義、展開等について学ぶ。<br>⑭事例を用いて必要な生活支援等を学ぶ。 |                   |                   |   |
| 項目番号・項目名                         | 時間数   | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)  |
| ① 介護の基本的な考え方                     | 4   | 4                 |                   | <講義内容><br>・介護の基本的な考え方<br>・重度化防止の視点  |
| ② 介護に関するところのしくみの基礎的理解            | 3.5   | 3.5               |                   | <講義内容><br>・高齢者の心理<br>・自己実現と生きがいがづくり   |
| ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解            | 3.5   | 3.5               |                   | <講義内容><br>・人体の名称とはたらき<br>・運動動作に関する基礎知識<br>・神経系に関するからだのしくみ<br>・バイタルチェック                              |
| ④ 生活と家事                          | 7   | 7                 |                   | <講義内容><br>・家事と生活の理解<br>・家事援助に関する基礎知識と生活支援<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、生活支援に関するロールプレイングを行う。 |
| ⑤ 快適な居住環境整備と介護                   | 3.5   | 3.5               |                   | <講義内容><br>・住環境整備<br>・福祉用具の活用<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、福祉用具の利用を実際に行う。                    |
| ⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護    | 3.5   | 3.5               |                   | <講義内容><br>・整容に関する基礎知識<br>・衣類の着脱の介護<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、整容及び衣類の着脱等に関するロールプレイングを行う。  |
| ⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 7   | 7                 |                   | <講義内容><br>・体位・姿勢の基礎知識<br>・移乗の介護<br>・車いすでの移動の介護<br>・移動の介護<br><演習実施方法>                                |

|                                    |    |    |  |   |
|------------------------------------|----|----|--|---|
|                                    |    |    |  | 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、移動・移乗等に関するロールプレイングを行う。  |
| ⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護      | 7  | 7  |  | <講義内容><br>・職に関する基礎知識<br>・食事の介護<br>・口腔ケアの支援技術<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、食事介助及び口腔ケア等に関するロールプレイングを行う。                   |
| ⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 7  | 7  |  | <講義内容><br>・入浴・清潔保持に関する基礎知識<br>・入浴の介護<br>・身体の清潔の介護<br>・整容の支援技術<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、入浴介助、清拭及び整容等に関するロールプレイングを行う。 |
| ⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護      | 7  | 7  |  | <講義内容><br>・排泄に関する基礎知識<br>・排泄の介護<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、排泄介助等に関するロールプレイングを行う。                                      |
| ⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護      | 5  | 5  |  | <講義内容><br>・睡眠に関する基礎知識<br>・睡眠の介護<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、体位変換等に関するロールプレイングを行う。                                      |
| ⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期の介護     | 5  | 5  |  | <講義内容><br>・終末期ケアに関する基礎知識<br>・終末期ケア<br>・看取りの介護<br><演習実施方法><br>演習手法：「終末期ケア」について、班体制を用いてグループディスカッションを行う。                           |
| ⑬ 介護過程の基礎的理解                       | 6  | 6  |  | <講義内容><br>・介護過程の基礎的理解<br>・介護過程の展開<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、複数の事例を活用してグループディスカッションを行う。  |
| ⑭ 総合生活支援技術演習                       | 6  | 6  |  | <講義内容><br>・演習1 要介護者・家族介護者への援助<br>・演習2 要支援者への支援<br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、複数の事例を活用してグループディスカッションを行う。                           |
| (合計時間数)                            | 75 | 75 |  |   |

|            |  |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト<br>・DVD教材<br>・車いす、ベッド、補助具等 |
|------------|--|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

| 科目番号・科目名             | (10) 振り返り   |                   |                   |   |
|----------------------|---|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標                 | ①研修を通して学んだことの振り返りを行いながら、介護の要点の再確認を行う。<br>②現場・事業所の概要、働く職員の体験談等を通して、介護現場への理解を深める。 |                   |                   |   |
| 項目番号・項目名             | 時間数   | うち<br>通学学習<br>時間数 | うち<br>通信学習<br>時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等<br>(別紙でも可)  |
| ① 振り返り               | 2   | 2                 |                   | <講義内容><br>・学習到達度の振り返り<br><br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、研修を通して学んだことについて、グループディスカッションを行う。              |
| ② 就業への備えと研修修了後における研修 | 2   | 2                 |                   | <講義内容><br>・質の向上と人材育成<br>・事業所等における事例に学ぶ<br><br><演習実施方法><br>演習手法：班体制を用いて、事業所での就労について、グループディスカッションを行う。 |
|                      |   |                   |                   |   |
|                      |   |                   |                   |   |
|                      |   |                   |                   |   |
| (合計時間数)              | 4   | 4                 |                   |   |

|            |  |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | 中央法規出版株式会社 発行<br>・介護職員初任者研修テキスト<br>・DVD 教材 |
|------------|--|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。